

## 神戸大学国際連携推進機構の独自性（強み）

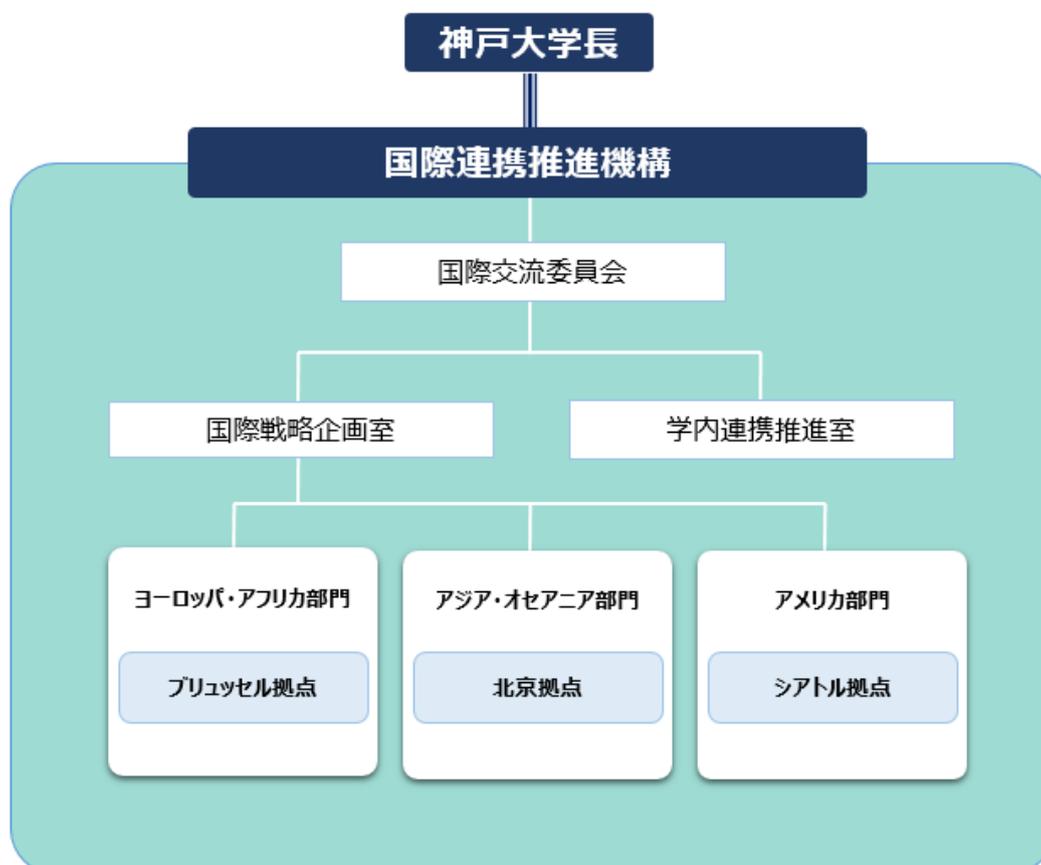
神戸大学は、長期ビジョンにおいて、国内外での様々な連携・共創を高い次元で推進し、世界最高水準の異分野共創型教育研究拠点を構築して、現代及び未来社会の課題を解決できる優秀な人材育成と新たな価値創造によりイノベーションを創出し、超高齢化、ポストコロナ、知識集約型デジタル社会に貢献するという目標を掲げている。

第3期中期目標期間においては、グローバル化に関する目標を達成するため、「海外オフィス等の拡充や海外大学との連携強化による国際シンポジウム・セミナーの開催」、「国際共同研究の促進による国際共著論文の倍増」及び「学生の受入、派遣数の増加」などの取組みを中心に実施してきた。

さらに、第4期中期目標期間からは、長期ビジョンを実現していくために、大学における国際戦略を明確に定め、教育分野、研究分野と連携した国際交流活動などをこれまで以上に推進することが求められている。

このため、2022年4月、国際連携推進機構の体制を見直し、国際戦略の企画・立案を基軸として各部局との連携を強化し、海外拠点を活用した国際交流などを行うことによって、国際連携をより強力に推進する組織へと改組した。

大学の国際戦略を策定し、各地域の活動を統括する「国際戦略企画室」と、学内各部局の国際交流に関する連携強化を役割とする「学内連携推進室」を新たに設置し、国際戦略企画室の下に設置した「ヨーロッパ・アフリカ部門」、「アジア・オセアニア部門」、「アメリカ部門」が、全体の戦略に基づき、地域の垣根を越えて協力し、国際交流活動、海外ネットワーク強化を推進する。



#### ◆国際戦略企画室

国際戦略企画室は、ヨーロッパ・アフリカ部門、アジア・オセアニア部門、アメリカ部門が相互に連携しながら、本学における教育及び研究に関する国際戦略を策定するとともに、本学の国際化を推進する。

#### ◆学内連携推進室

学内連携推進室は、本学の国際戦略の共通理解を形成し、学内の国際交流情報の一元化を図ることで、学内各部局の国際交流に関する連携を強化する。

#### ◆海外拠点

本学の国際交流推進拠点として、本学と海外の大学、研究機関、団体、企業及び卒業生等との連携による教育研究交流を促進することを目的として、海外拠点を設置している。

##### 包括的海外拠点

ベルギー	神戸大学ブリュッセル拠点 (KUBEC)
中国	神戸大学北京拠点 (KUBOC)
アメリカ合衆国	神戸大学シアトル拠点 (KULOS)

##### 海外拠点

ポーランド	神戸大学ポーランド拠点 (クラクフ)
ルーマニア	神戸大学/バベシュ・ボヨイ大学国際協力センター
ベトナム	ハノイ神戸大学連絡拠点
中国	神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点
中国	神戸大学・上海交通大学文理融合国際共同研究拠点